

# いわぎんレポート

2020 岩手銀行中間期ディスクロージャー誌【情報編】  
The Bank of Iwate, Ltd. Report 2020



 **岩手銀行**  
The Bank of Iwate, Ltd.

ご自由にお持ち帰りください

### ごあいさつ

平素より、岩手銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。あわせまして、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている皆さまに、心よりお見舞いを申しあげます。

この度、当行に対するご理解を一層深めていただくため、「いわぎんレポート」を作成いたしました。本誌では、地域社会の活性化に向けた当行の取組みや現況などをよりわかりやすくご紹介しております。ご高覧のうえ、当行をさらにご理解いただければ幸いです。

#### ■ 地域との共通価値の創造を目指して

当行では2019年4月よりスタートした中期経営計画「いわぎんフロンティアプラン ～To the Next～」に基づき、「地域の未来を共に創るCSVの実践」をテーマとしてさまざまな取組みを進めています。CSV (Creating Shared Value) とは、「共通価値の創造」を意味します。本中期経営計画では、お客さまとの関係性強化に努め、地域の課題に正面から向き合い、その解決に取り組んでいくことで地域と当行にとっての共通価値を創造し、ともに成長していくことを目指してまいります。

当行を取り巻く経営環境は、人口減少や後継者不足など地域経済の縮小に加え、日銀によるマイナス金利政策の継続や異業種との競合など、不透明感が増している状況にあります。加えて昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症は全世界

に拡大し、その終息が見通せない中で、外出自粛や消費の低迷などにより地域経済にも大きな影響が表れている状況です。

このように、当行を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、当行では、この逆境を克服し、地域が抱える課題の解決による共通価値の創造を実現するため、2020年度上期は役職員が一丸となって次のような取組みを進めてまいりました。

#### ■ 2020年度上期の取組み

2020年度上期は、本中期経営計画の2年目として、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けているお取引先企業の資金繰りや業績の改善に向けた支援のほか、WEBを活用したセミナーや商談会などを開催し、新たな生活様式のなかでビジネスを展開するお客さまの取組みに寄り添い、それを積極的に後押ししてきました。

また、従来から主軸としてきた金融仲介機能に加え、当行としての新たな事業領域を創出するため、今年4月に事業承継支援業務ならびに事業戦略・経営計画策定支援、中核人材紹介などの経営支援業務を行う「いわぎんコンサルティング(株)」と、お客さまの販路拡大やブランディングに関する支援業務のほか、地域の事業者や自治体との連携により地域活性化に資する地域商社事業を行う「manordaいわて(株)」を当行全額出資のもと設立しました。

いわぎんコンサルティングにつきましては、事業承継対策に対するお取引先企業のニーズが年々高まってきていることを受けて、これまで銀行本体で行っていたコンサルティング機能を新会社に移行し、より専門性の高い解決策を提供してまいります。また、お取引先企業の多くが課題として認識している人材確保・人事労務対策、経営計画策定などに対しても、専門性を活かした、きめの細かいサービスを提供できることが強みです。

manordaいわてにつきましては、地域活性化と産業創出を促し、持続可能なビジネスモデルを構築するとともに、SDGsやCSV施策に連動したソーシャルインパクト事業に取り組むことで地域の持続可能性を高めていくことを目指します。具体的には、営業代行による新たなマーケットの創出やビジネスのコーディネート支援、地域のデザイナーやクリエイターとの協業による地域ブランド品の開発のほか、域内循環型プラットフォームの企画・運営などにも取り組んでまいります。

#### ■ 信頼の、さらにその先へ。

当行のコーポレートメッセージである「信頼の、さらにその先へ。」は、お客さまに当行を「信じて頼って」いただき、さらにそれ以上の強い信頼関係を築くことを目指していくというものです。今後とも地域の皆さまに「信頼」され、選ばれる銀行であるよう、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役頭取 **田口幸雄**

### CONTENTS

- 頭取メッセージ…………… 01
- 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う対応…………… 03
- SDGs達成に向けた取組み…………… 05
- 社外取締役インタビュー…………… 07
- 業績トピックス…………… 09

銀行法施行規則等で規定された開示項目は、後日発行いたします「いわぎんレポート2020(資料編)」をご参照ください。

### 中期経営計画

## いわぎんフロンティアプラン ～To the Next～

【テーマ】 地域の未来を共に創るCSVの実践 (計画期間: 2019年4月～2023年3月)

### 主要計数目標 (計画最終年度)

- ・連結当期純利益 50億円
- ・OHR 70%台
- ・連結自己資本比率 10%以上
- ・事業承継・M&A支援先数 2,400先\* (※計画期間累計)

### 4つの基本方針

基本方針 I	<b>創意と熱意</b> 地域やお客さまの成長を実現するための質の高い付加価値の提供	基本方針 II	<b>ストラクチャー改革</b> BPRの推進とリソース配分の最適化による業務効率性の向上
基本方針 III	<b>柔らかく、揺るぎない</b> 環境の変化に柔軟に対応できる市場運用・リスク管理・収益管理態勢の構築	基本方針 IV	<b>わたし×みらい</b> 一人ひとりが知恵と行動により主体的に課題解決に取り組む組織風土の醸成



# 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う対応

岩手銀行では、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けているお客さまに対し、資金調達やご返済方法の変更等の資金繰り支援を最優先に対応するとともに、販路の維持や回復などに向けた複合的な支援も行っていきます。また、お客さまの利便性向上のため、オンラインサービス等の充実に積極的に取り組んでいます。

## 資金ニーズへの対応

事業者の皆さまの資金ニーズに迅速かつ柔軟に対応するため、全営業店にご相談窓口を設置し、特別融資制度および制度融資の取り扱いを行っているほか、新型コロナウイルスの影響によりご返済条件を変更する場合には、その変更手数料の免除等の対応を行っています。

### 新型コロナウイルス関連貸出実績

**3,282件 859億599万円**  
(2020年9月末時点)

## TOPICS

**「地域支援チーム」の設置** 新型コロナウイルスの感染拡大により事業継続に影響を受けている事業者の皆さまの支援を目的として、本部組織を横断した専門対策チームを審査部内に設置しています。また、営業店・当行グループ会社との連携により、お客さまの幅広いニーズにワンストップでお応えする体制を整えています。

## オンラインセミナー、オンライン商談会の推進

これからの新しい働き方を見据えた取組みを進める事業者の皆さまへの支援を目的として、「テレワーク導入」「IT導入補助金活用」「雇用調整助成金活用」などをテーマとしたオンラインセミナー・相談会を実施しています。

また、外出自粛等の影響により販路が縮小するなかで、お取引先の商品を紹介・販売するオンライン商談会を開催し、国内のみならず海外での販路の回復や拡大を支援しています。



## 盛岡市と共同でオンラインセミナーを開催



ビジネスの在り方にも「新様式」が求められるなかで、事業者の皆さまのデジタル化を後押しするため、非対面営業のカギとなるECサイトの開設やその活用事例を紹介するオンラインセミナーを、盛岡市、当行およびmanordaいわて(株)の共同主催で2020年10月に開催しました。

セミナーでは世界シェアNO.1のECサイト構築プラットフォーム「Shopify(ショッピングファイ)」を使ったネットショップの開設事例を含め、ECサイトを活用した非対面チャネルについて解説し、事業者の皆さまの新たなビジネスモデルづくりを支援しました。

## オンラインサービスの充実

日中にご来店が難しいお客さまや感染防止のために外出を控えているお客さまが、銀行の店舗やATMに行かなくても各種お手続きができる「オンラインサービス」の充実に努めています。

預金残高の確認、住所変更などのお手続きはもちろん、ご自宅にしながら普通預金口座の開設やお借入れのお申し込みを行うことができます。



<b>はじめて口座をつくるなら</b> いわぎん <b>口座開設</b> アプリ	<b>残高・明細を確認するなら</b> いわぎん <b>アプリ</b>	<b>いつでも、どこでも、お取引</b> 「いわぎん」 <b>インターネット</b> バンキング	<b>お借入れまでスマホで完結</b> 「いわぎん」フリーローン <b>マイカード</b> WEBで完結!! いわぎんカードローン 〈エルパス〉
---	---	---	---

詳しくは岩手銀行ホームページをご覧ください。

来店不要の  
オンラインサービス



## 「Cheer Up Iwateプロジェクト～医療現場を応援しよう～」による寄付

岩手県内の医療現場の活動を応援する取組みとして、対象となる非対面取引をご利用いただいた件数に応じて、当行が岩手県に寄付を行う「Cheer Up Iwateプロジェクト～医療現場を応援しよう～」を実施しました。

2020年7月～9月までの3か月間の非対面取引のご利用件数に応じて、2020年10月に200万円を岩手県に寄付しました。この寄付金は、岩手県を通じて新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用として役立てられます。



## 行内における感染防止対策

お客さまと従業員の健康と安全を最優先とするため、以下のような取組みを行っています。

- 「新型コロナウイルス感染症への対応に伴うガイドライン」の策定
  - (1) 訪問予定のお客さまに対する事前の意向確認の徹底
  - (2) 当行グループが主催する事業、イベント等の開催方法の見直し
  - (3) 行内研修やセミナー、会議等のテレビ会議への切り替え
- 出勤前の検温実施、手洗い・うがい・せきエチケットなど感染予防策の励行
- 全従業員への業務中のマスク着用義務付け、営業店窓口へのアクリル板の設置
- 小学校等の一斉臨時休校等により子どもの在宅対応が必要となる従業員への特別休暇の付与
- テレワーク(在宅勤務)、スプリットオペレーションの実施

# SDGs達成に向けた取組み

SDGsとは、「Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標」の略称で、国際社会全体で取り組み、2030年までに達成すべき目標のことです。

岩手銀行グループでは、持続可能な地域社会の実現を目指し、当行の経営理念をすべての活動の拠り所としてSDGsの達成に貢献します。

## 経営理念

地域社会の発展に貢献する  
健全経営に徹する

## プロセス

CSR(企業の社会的責任)  
CSV(共通価値の創造)  
ESG(環境・社会・企業統治)

## ゴール



ゴールに向かうプロセスであるCSR、CSV、ESGの取組みを、「豊かな暮らし」「豊かなしぜん」「豊かなところ」「ガバナンス」の4つの観点で切り分け、それぞれに重点テーマを設定しています。

## 豊かな暮らし



### ▶ 事業性損害保険販売業務の開始

法人のお客さま、個人事業主のお客さまを対象とした事業性損害保険販売業務を2020年10月より開始しました。近年増加する自然災害やサイバー攻撃などの経営リスクに備えるための商品で、お取引先の事業継続や企業価値向上を支援します。

### ▶ 金融仲介機能を活用した地域との共通価値創造

寄付型の私募債やローン等を通じてお客さまの資金ニーズにお応えするとともに、地域との共通価値創造のため、ご利用いただいたお客さまと一緒に地域貢献活動に取り組んでいます。また、災害時に受ける財務的なダメージを軽減する商品をご提供し、お取引先の事業継続を支援する体制を整えています。

いわぎん  
「みらい応援私募債」  
(寄付型CSR私募債)

お取引先企業が私募債を発行する際に、当行が受け取る私募債発行手数料の一部を寄付金として拠出し、お取引先が指定する学校等に対して必要な物品等の寄贈を行います。

いわぎん寄付型ローン  
「エールいわて」

お客さまからいただく貸出金利収入の一部を岩手県が推進する事業に寄付する法人向けローン。岩手県への寄付を通じて地域の発展を支援し、その効果がお客さまに還元される好循環を目指します。

震災時元本免除特約付き融資  
「バックアップ・プラン」

予め定めた震度観測点において、震度6強以上の大規模地震が発生した場合に、予め定めた割合(100%または50%)で当該融資の借入元本が免除される特約付きの融資商品。災害時の財務面での立て直しを支援します。

2020年9月末までの累計実績

「みらい応援私募債」  
による寄贈  
**48**件  
1,008万円

「エールいわて」による  
岩手県への寄付  
**111**件  
296万円

「バックアップ・プラン」  
実行額  
**40**件  
33億2,000万円

## 豊かなしぜん



### ▶ 自然保護活動の継続した取組み

地域の豊かな自然を未来へ引き継いでいくことを目的として、地域の子どもたちと一緒に自然保護活動に取り組んでいます。また、当行は二戸市と「漆の林づくりパートナー協定」を締結しており、毎年11月13日の「漆の日」に合わせ、漆の植栽活動を行っています。



### ▶ 贈答用ポリバックの廃止

プラスチックごみによる海洋汚染、化石燃料の大量使用による地球温暖化が指摘される中、当行では2020年7月1日より、お客さまへ贈答品をお渡しする際に使用するポリバックの使用を順次廃止しています。

この取組みにより、概算で年間876kgのCO<sub>2</sub>削減が可能となるほか、プラスチックごみの排出削減にも貢献していきます。



## 豊かなところ



### ▶ スポーツ・文化事業への協賛

県内で活躍するプロスポーツチームや、クラシックコンサート・オペラ公演を始めとした文化事業への協賛を行っています。



岩手県立美術館  
「東日本大震災復興祈念  
東山魁夷 唐招提寺  
御影堂障壁画展」  
2020年11月14日(土)～  
2020年12月27日(日)  
特別協賛：(株)岩手銀行、  
東北電力(株)

### ▶ 金融教育活動

若い世代の金融リテラシー向上のため、行員が学校を訪問してお金に関する授業を行う金融出前授業や、各営業店での職場訪問の受け入れを行っています。



☆お金のなるほど教室 好評配信中!

当行ホームページで、「鉄神ガンライザー」がお金の豆知識を楽しく伝える金融教育ミニアニメを配信しています。



## ガバナンス



### ▶ 多様な働き方への対応

フレックスタイム制度を導入し、行職員の多様な働き方に対応する体制を整えています。



### ▶ 女性の活躍推進

- ポジティブ・アクションの継続推進  
役員者に占める女性の割合を2022年3月末までに15.0%とする(2020年4月時点13.4%)
- 育児休業者向けセミナー(託児付き)の実施
- がんちゃんすくすく保育園(事業所内保育所)の運営
- えるぼし(3段階目)、プラチナくるみん、イクボス宣言等の認定制度の取得



# 社外取締役インタビュー

岩手銀行では、「いわぎんグループSDGs宣言」の重点項目の今回は、女性取締役のお二人に、当行の取組みに対する評価、

ひとつである「ガバナンス」の中で、女性の活躍を推進する様々な施策に取り組んでいます。期待することについてお話を伺いました。



小原 忍 社外取締役

## プロフィール

岩手めんこいテレビ常勤監査役。北海道放送アナウンサーとして活躍し、1990年に岩手めんこいテレビ入社。同取締役副社長のほか、生活情報紙「マ・シェリ」社長などを歴任。2012年6月より当行社外監査役、2018年6月より当行取締役監査等委員。

「やってみよう」と思える企業風土を。不得意を理解し合い、

## —当行に期待することは

岩手銀行は地域経済のけん引役というイメージが強いですが、地域の皆さんの隣に寄り添い、同じ目線で歩んでいることがもっと伝わるといいと思います。もちろん銀行としての存在感は必要ですが、身近な存在であることを分かってもらうことも大切です。また、SDGsもそうですが、言葉を並べただけでは伝わりません。発信したうえで「分かってもらう」工夫が必要ではないでしょうか。

## —自身の経験を活かした社外取締役としての役割は

会社も社員も若かった岩手めんこいテレビで、私は部長や局長を務めました。失敗の連続で、周りに迷惑のかけ通しでした。子育てや介護などもあり、悩み迷いながらの毎日で、反省することばかりです。続けてこられたのは周りの方々のサポートのおかげです。

現在は岩手銀行の社外取締役をお引き受けしていますが、銀行や金融については門外漢です。私には、特に若い方に「あの人がやっているのだから、自分もできるのではないか」と思っていただけ、身近な参考例としての役割があるの

ではないかと思っています。

営業店で行員の方のお話を聞く機会があり、「どういうところにやり甲斐を感じますか」と尋ねると、「高齢のお客さまに商品の説明をして喜んでもらった、役に立ててよかった」など、前向きな答えがすぐに返ってきます。このような現場の具体的なお話を聞くと、行員の皆さんが頑張っているのだなと感じます。取締役会では銀行全体の決算を見る機会がありますが、その始まりは行員の皆さん一人ひとりです。行員の皆さんにとって、身近な存在でありたいと思っています。

## —当行の女性活躍推進に関する取組みへの印象は

育休制度やセミナーなど、様々な施策は充実していますが、それをどのように使っていくかが重要だと思います。組織が大きければ大きいほど、そういった制度を利用する柔軟性は薄れていく傾向にあります。みんなが、自分の価値観やライフスタイルに合うように使いこなしていくことです。

また、「女性の活躍」という言葉をもう少し分解して、具体的にどういう姿が求められているのかを示さないと、女性が経営の立場に近づくことに尻込みをする状況は変わりません。女性だけでなく男性も、「お客さまのために」という志さえあれば、支店長になる人がスーパーレディやスーパーマンでなくてもいいのではないかと考えています。

もちろん責任ある立場にはプレッシャーもありますし、これまで以上の努力が必要となります。得意不得意もあるし、悩みも多く、失敗を重ねることもあるでしょう。しかし、それをみんなで理解し、サポートし合うことができれば次につながります。次に活かすことができるなら、失敗も「したもん勝ち」です。企業全体として「いろいろな人がいていい」ということへの理解が進み、サポートし合う中で、「私もっとやってみよう」という人が増えてくれればと思います。

## —当行のSDGs達成に向けた取組みへの評価は

岩手銀行は地域のモデル企業として、地域をリードしていく存在でなければならないし、実際にそうであると思っています。国際社会全体で取り組むべき目標であるSDGsに関しても、いち早く「いわぎんグループSDGs宣言」を公表して意思表示すると同時に、「いわぎんSDGsレポート」を発行して情報発信を行いました。

ただし、SDGsは宣言を公表し、パンフレットを完成させて終わりではありません。行員への理解や定着を促すための勉強会や、目に見える取組みをさらに進めることも必要ではないでしょうか。

## —当行の女性活躍推進に関する取組みについて期待することは

女性の活躍や子育て支援については、もっと踏み込んで地域をリードしてもいいのではないかと思います。施策を考え、目標数値（女性役員者割合15%など）を掲げて取り組んでいます。現状では社外取締役を除いて女性の役員はいませんし、女性支店長も少ない。取締役会では、私が銀行の外の視点から疑問を呈したことはすぐに検討いただき、新たな施策として取り入れていただく場合もあります。このように受容性が高く意思決定が速い組織ですので、経営の意思決定の場に銀行のことがよく分かっている女性がいたほうが、さらに気が付くことも多いのではないのでしょうか。

私は岩手大学で、女性教員の割合を増やすために長年にわたって取り組みましたが、比率を5ポイント上げるだけでもとても大変なことでした。簡単ではないことは分かりますが、銀行の中も、地域のお客さまも約半数は女性なので、役員や支店長クラスに女性がいなくて、お客さまのニーズに十分に答えられるだろうかと気がかかります。

私自身、大学の副学長になる以前は、管理職の経験を積んでいませんでした。それでも、トップに近い位置に

菅原 悦子 社外取締役

## プロフィール

岩手大学名誉教授。岩手大学で教授、副学長などを歴任。2008年に設置された同大男女共同参画推進室の室長を9年間務め、女性研究者の支援などに取り組む。「令和2年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」受賞。2018年6月より当行取締役監査等委員。



いることでできることもあるのではないかと考えて挑戦しました。ですから、女性行員の皆さんには、チャンスがあるならぜひ活かしてほしいと思います。また、岩手銀行はそのような意欲のある人にチャンスを与え、サポートできる企業だと思いますので、今後に期待しています。

## —子育て世代の女性が活躍するために、企業として必要なことは

女性への支援はもちろんですが、男性がもっと育児に参加できるような意識改革が必要です。子育ては楽しいこと、クリエイティブなことだと感じられる環境を作らなければ、この状況は変わらないのではないのでしょうか。

地域にとっては人口減少が一番の痛手です。銀行に限らず、地域も企業も、人がいないと成り立ちません。支援策や制度を作ることも必要ですが、人の意識が変わらなければ意味がありません。子育ては個人的なもので、会社には関係ないと思っている人もいるかもしれませんが、そういう「無意識のバイアス」を自覚すること、変えていくことも重要だと考えます。

意思決定の場に女性の意見が増えることを期待したい。

# 業績トピックス(単体)

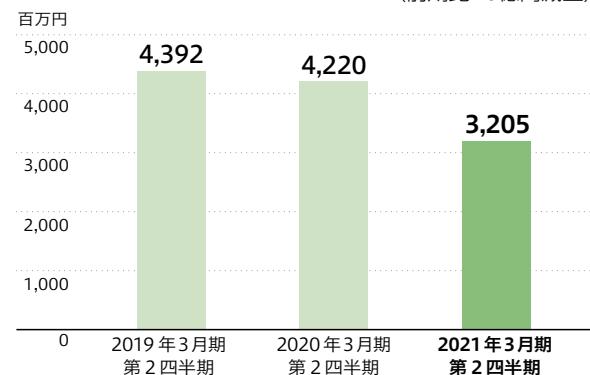
- 諸計数は原則として単位未満を切り捨てております。
- 構成比は100に調整しております。

## 2020年度 中間期 決算の概要

- ・コア業務純益は、資金利益の減少を主因として、前年同期比10億円減益の32億円となりました。
- ・中間純利益は、株式関係損益が増加したものの、コア業務純益の減少などにより、同8億円減益の19億円となりました。

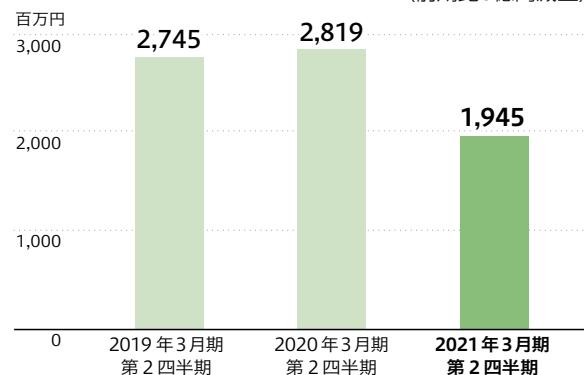
## コア業務純益

**32億円**  
(前期比10億円減益)



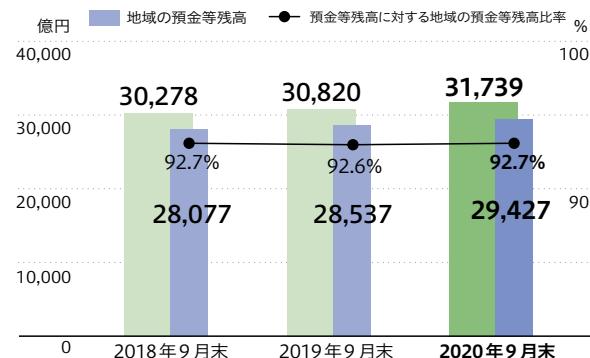
## 中間純利益

**19億円**  
(前期比8億円減益)



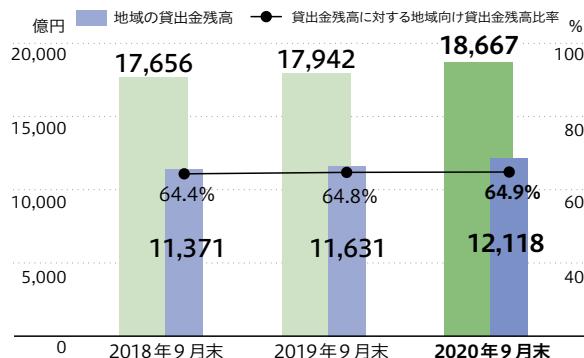
## 預金等残高

(うち地域の預金等残高) **31,739億円**  
(前年比919億円増加)



## 貸出金残高

(うち地域向け貸出金残高) **18,667億円**  
(前年比725億円増加)

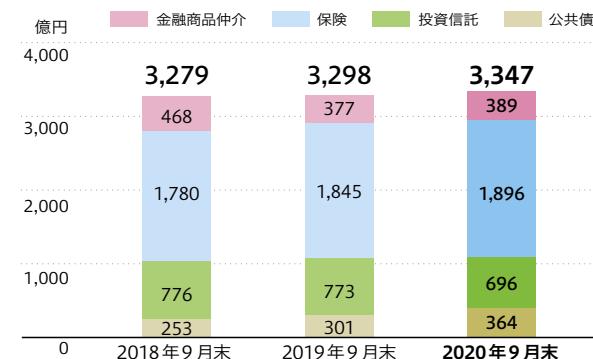


### 「地域」の定義

当行の主要な営業基盤である「岩手県」を指しています。県内向け預貸金等の計数につきましては、岩手県内各店舗の合計数値としています。

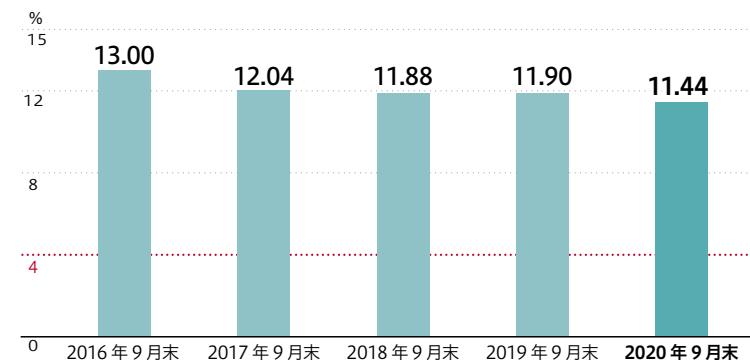
## 預り資産残高

**3,347億円**  
(前年比49億円増加)



※保険は、有効契約残高を記載しております。

## 自己資本比率

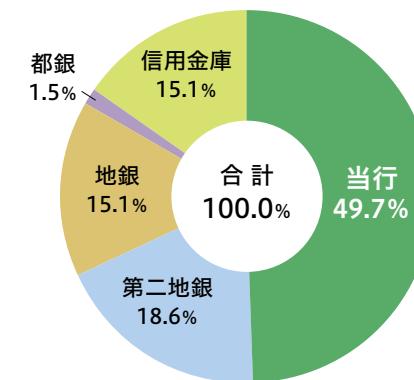


### 用語のご説明 自己資本比率

信用の程度に応じてウェイト付けした資産および事務事故、システム障害等で損失が発生する可能性のある金額の合計(リスクアセット)に対する自己資本の割合です。この比率が高いほど不良債権処理等に対する備えが充実していることを示し、当行のような国内支店のみの銀行は4%以上を維持する必要があります。

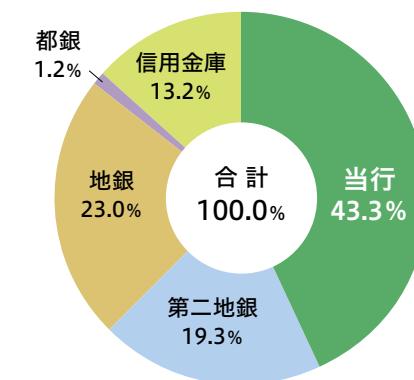
## 県内預金等シェア

2020年3月中平均残高ベース



## 県内貸出金シェア

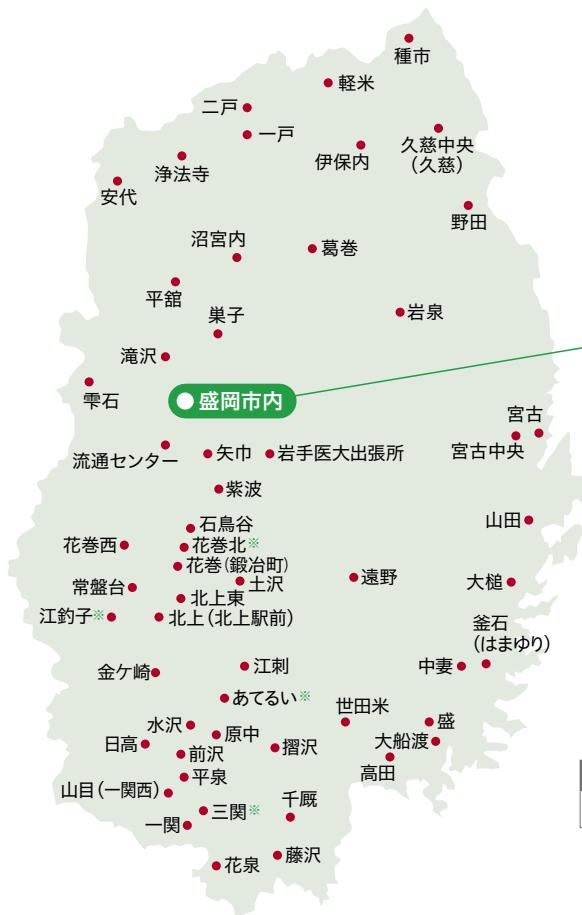
2020年3月中平均残高ベース



岩手県内における当行の預金等・貸出金シェアは、県内の地銀、第二地銀、都銀、信用金庫の中でトップとなっています。  
(注)県内シェアは、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)および信用金庫による割合です。

# 店舗ネットワーク (2020年11月末現在)

※最新の情報は岩手銀行ホームページをご確認ください。



( )内は支店内支店の店舗名  
※はローンプラザ

## 盛岡市内

- 本店営業部
- 盛岡市役所出張所
- 中ノ橋(惣門)
- 盛岡駅前
- 材木町(城西)
- 仙北町
- 本町
- 大通
- 県庁
- 上田(高松)
- 青山町(月が丘)
- 緑が丘
- 茶畑
- 松園
- みたけ
- 天昌寺
- 本宮  
(盛岡ローンプラザ併設)
- 加賀野(山岸)
- 都南(手代森)
- 津志田
- 好摩

## 青森県

- 青森
- 八戸営業部
- 湊
- 十三日町※
- 根城(田面木・八戸駅前)

## 宮城県

- 仙台営業部
- 長町
- 宮城野
- 泉中央※
- 大崎
- 塩釜
- 石巻
- 気仙沼
- 美田園※

## 秋田県

- 秋田

## 東京都

- 東京営業部

## バーチャル店舗

- イーハトーヴ  
(インターネット専用)

## 店舗ネットワーク合計

店舗	109カ店(うち県外18カ店)
店舗外ATM	206カ所(うち県外 5カ所)

※店舗数には振込専用支店1カ店、コンビニATM運営管理店舗2カ店を含んでおります。

2020年12月発行

株式会社 岩手銀行 総合企画部 広報CSR室

〒020-8688 盛岡市中央通一丁目2番3号

TEL 019-623-1111(代表)

<https://www.iwatebank.co.jp/>

